

今後の活動に向けて

地域共創センターは、本学の地域貢献を担う中心的な組織であり、「地域調査研究部門」「地域教育活動部門」「アーカイブ部門」の3部門を有しています。

「地域調査研究部門」では、地域の課題に対応する地域共創研究などの様々な調査・研究を実施しています。「地域教育活動部門」では、地域の皆様を対象として市民大学テーマ講座・公開講座などの教育プログラムを実施しています。「アーカイブ部門」では、下関を代表する水産資源の史資料を収集・保管している鯨資料室・ふく資料室を設置、関連する学術シンポジウムを開催しています。来年度においても、より地域の皆様に参加していただけるような取り組みを行い、地域に対する貢献を行っていききたいと思います。

地域共創センター 副センター長 松本 義之

Information 地域調査研究部門

1. 地域共創研究

■本学教員から企画を募集し、テーマなどを審査して採択しています。その成果は成果報告会で公開されるとともに、定期刊行物『地域共創センター年報』に論文として掲載され、また山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開されます。

2. 関門地域共同研究

■北九州市立大学との共同研究です。行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となりました。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。毎年度、その成果を年刊「関門地域研究」として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

3. 国際共同研究

■旧産業文化研究所時代には、本学と青島大学にて学術共同研究を実施していました。現在では海外提携校との共同研究を実施しています。

4. 自主調査研究

■センター発足にあたり、調査研究部門のスタッフは地域調査研究のコーディネーター集団に衣替えしました。コーディネーターが企画し、調査研究プロジェクトを提案します。調査研究スタッフを編成して、調査研究プロジェクトの進行を補佐します。

5. 受託調査研究

■地域課題について調査研究の依頼があれば、コーディネーター集団が始動します。また、プロジェクト化の可能性を図り、対応いたします。

6. 自主資料収集

■さまざまな発行物や下関市内商工会文書等の資料収集を進めていきます。

Information 地域教育活動部門

平成30年度開講予定の講座です。企画が出来次第、ご案内します。

市民大学

- 公開講座
- 開放授業 ・教養総合
- 出前講座
- テーマ講座

スケジュールの詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

Information アーカイブ部門

地元下関の産業、文化、歴史などに関する史資料の収集、保管、公開をすることで地域貢献をしています。特徴的なのは下関を代表する水産資源である、鯨やふぐの資料を集めた鯨資料室・ふく資料室を設置していることです。事業者や個人から寄贈していただいた貴重な資料や購入した関連書籍を公開したり、かつて捕鯨に携わった方から聞き取り調査を行いそれを映像化するなど、時の流れとともに散逸していく資料を収集し、地元の方にも余り知られていない情報を留め、後世に残していくこと。それがアーカイブ部門の目的です。今後も様々な情報をシンポジウムや広報誌などで発信していきながら、地域に貢献していきます。



鯨のくーちゃんが、資料室の資料を紹介する「くーちゃんの部屋」を立ち上げました。以下のURLからご覧いただけます。

http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/chiikikyoso/archive_kuchan.html

出版物のご案内



地域共創センター年報 Vol.10



関門地域研究 Vol.26



地域共創センターニュースレター Vol.9



資料室だより Vol.6

スタッフ紹介

□地域調査研究部門 研究員

佐藤 隆 部門長
西戸 隆義
横山 博司
櫻木 晋一

□地域教育活動部門 コーディネーター

松本 義之 部門長
素川 博司
菅 正史
重田 美咲

□アーカイブ部門 研究員

濱田 英嗣 部門長
森 祐司

地域共創センターニュースレター

2018

Vol.10

下関市立大学附属地域共創センターは、大学人(法人職員と学生)と地域の方々との協働で地域資産を掘り起こし、地域課題を見出して、その課題解決に取り組むことを目指します。

あいさつ

「大学の地域貢献とは?」

大学による地域貢献の理想像は「大学病院」にあると思う。そこに大学病院が開設されていることで地域住民は病気になればいつでも診察、治療を受けられるという安心感を提供している。つまり、大学の地域貢献の理想は当地に存在しているだけで住民に安心感や期待感が提供できるということである。ただし、これは医学という特殊技能集団による地域貢献であり、社会科学系の大学にとってハードルはかなり高い。しかし大学の地域貢献として究極の目標ではある。

近年、地域貢献は銀行や電力会社など、地域に根差す企業が真剣に力を入れ始めている。こうしたことから、地域企業のそれとは一線を画し、公立大学でしかできない地域貢献とは何かについても検討する段階に入ったと感じている。また、効果的な地域貢献活動に向けて、大学と企業による地域貢献活動との連携や棲み分けなどをどうするか、大学としての役割分担を交通整理することも必要となっている。そのためにも、学術教育機関として「学問の地域への還元」という基本的課題について、論議を深めることが喫緊の課題となっている。

下関市立大学附属地域共創センター

センター長 濱田 英嗣

地域共創センター
ニュースレター

発行◆2018年3月31日 発行◆下関市立大学附属地域共創センター(本館II棟2階)
〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1 MAIL◆chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp
TEL◆083-254-8613 FAX◆083-253-1622 U R L◆http://www.shimonoseki-cu.ac.jp

公立大学法人
下関市立大学
Shimonoseki City University

Shimonoseki City University Institute for Collaborative Community Development Newsletter

●市民大学公開講座

- 《NPOのマネジメント》(全1回)
日 時：5月25日(木) 18:30~20:00
講 師：川野 祐二 教授
- 《粉飾決算の動機とメカニズム》(全1回)
日 時：5月31日(水) 18:30~20:00
講 師：足立 俊輔 准教授
- 《生きづらさの社会学》(全1回)
日 時：6月27日(火) 18:30~20:00
講 師：吉武 由彩 福岡県立大学 講師
- 《環境政策の「安全」と「安心」》(全1回)
日 時：10月4日(水) 18:30~20:00
講 師：菅 正史 准教授
- 《基礎中国語》(全8回 金曜日)
日 時：10月13日~12月22日 16:30~18:00
講 師：馬 叢慧 特任教員
- 《日本人と魚食》(全1回)
日 時：10月17日(火) 18:30~20:00
講 師：濱田 英嗣 教授
- 《コミュニケーションって何?》(全1回)
日 時：11月2日(木) 18:30~20:00
講 師：横山 博司 教授
- 《アベノミクスについて》(全1回)
日 時：11月29日(水) 18:30~20:00
講 師：素川 博司 准教授
- 《近世下関の景観》(全1回)
日 時：12月13日(水) 18:30~20:00
講 師：櫻木 晋一 教授



●開放授業

- 《教養総合C》(全15回 月曜日)
日 時：9月25日~H30年1月22日 16:30~18:00
講 師：天野 かおり 准教授 他

●市民大学出前講座

- 《下関北高の存続について》《滝部温泉の活用について》
日 時：11月25日(土) 13:30~17:00
場 所：太陽館(滝部公民館) 1階 講義室
講 師：菅 正史 准教授

●市民大学テーマ講座

- 《アニサキスなど食中毒を正しく理解する》
日 時：7月5日(水) 14:00~15:50
場 所：唐戸市場2階 大会議室
講 師：河野 哲也(下関市保健部生活衛生課 主査)
『魚介類による食中毒とその発生状況』
山本 淳(鹿児島大学水産学部 教授)
『アニサキスの生活史からみた食中毒防止策』
コーディネーター：濱田 英嗣(下関市立大学 教授)
 - 《確立されたブランドの進化に関する諸課題》
日 時：11月11日(土) 13:30~15:45
場 所：下関市立大学本館2階 I-206教室
講 師：横山 博司(下関市立大学 教授)
『下関フグブランドを巡る諸課題』
柳川 善弘(元・株式会社九葉特薬事業部動薬資材部 部長)
『トラフグ養殖の技術的変遷とブランド化の課題』
江本 秀昭(垢田施設部会 部会長)
『垢田トマトブランドの諸課題』
- コメント：中溝 れい(株式会社みなと山口合同新聞社 記者)
白武 義治(佐賀大学農学部 教授)
コーディネーター：濱田 英嗣(下関市立大学 教授)

●地域インターンシップ関連

- 《豊北(角島)の観光実態調査と地域経済活性化の可能性》
日 付：6月26日(月)
場 所：下関市豊北地区一帯
参加者：濱田 英嗣 教授、菅 正史 准教授、学生11名
- 《豊北(角島)の観光実態調査と地域経済活性化の可能性》
日 付：7月24日(月)
場 所：下関市豊北地区(しおかぜの里 角島)
参加者：濱田 英嗣 教授、菅 正史 准教授、学生10名
- 《豊北(角島)の観光実態調査と地域経済活性化の可能性》
日 付：8月8日(火)
場 所：下関市豊北地区
(しおかぜの里 角島、海士ヶ瀬公園、道の駅北浦街道豊北)
参加者：濱田 英嗣 教授、菅 正史 准教授、学生11名
- 《豊北地区まちづくりワークショップ》
日 付：9月23日(土)
場 所：太陽館(滝部公民館)1階 講義室
参加者：菅 正史 准教授、学生2名
- 《豊北(角島)の観光実態調査と地域経済活性化の可能性》
日 付：10月21日(土)
場 所：下関市豊北地区(しおかぜの里 角島、道の駅北浦街道豊北)
参加者：濱田 英嗣 教授、菅 正史 准教授、学生3名
- 《豊北(角島)の観光実態調査と地域経済活性化の可能性》
日 付：平成30年2月3日(土)
場 所：太陽館(滝部公民館)1階 講義室
参加者：濱田 英嗣 教授、菅 正史 准教授、学生3名



- 開催場所：下関市立大学 本館3階 II-301教室
- ★第1回★ 6月1日(木) 18:00~19:00
「非営利組織の統治問題 - なぜ無責任な経営が横行するのか -」
講 師：川野 祐二 教授
 - ★第2回★ 7月5日(水) 18:00~19:00
「類縁関係とコミュニティ志向性 - 長崎のカトリック信仰の現状と教区の取組み -」
講 師：叶堂 隆三 教授
 - ★第3回★ 7月26日(水) 18:00~20:00
報告1：「ポスト社会主義モンゴルにおける記憶と変化」
講 師：バトサイハン 客員研究員
報告2：「マレーシアにおける感性工学研究の動向と展望」
講 師：土屋 敏夫 教授
 - ★第4回★ 12月6日(水) 18:00~19:00
「経済学の起源とフランスのコンテキスト」
講 師：米田 昇平 教授



●平成29年度 地域共創研究報告会

- 日 付：6月8日(木) 18:30~20:30
場 所：下関市立大学 本館2階 I-201教室
報告者：1.「下関市における地域金融機関のマーケティング戦略」
森 祐司 教授
2.「下関市におけるシティプロモーションの可能性」
柳 純 教授



●関門地域共同研究会 成果報告会

- 日 付：7月13日(木) 14:00~16:30
場 所：西日本総合展示場新館3階 314・315会議室
報告者：1. 関門地域におけるインバウンド政策に関する調査研究：
北九州空港・北九州港・下関港を事例として
内田 晃(北九州市立大学地域戦略研究所副所長・教授)
2. 地方都市における子どもの貧困対策としての教育保障の展開
寺田 千栄子(北九州市立大学基盤教育センター 講師)
3. 那覇市における子どもの貧困対策に関する考察
一 国・県からの財政支援と地域的なサービス -
難波 利光(下関市立大学経済学部 教授)



- シンポジウム「地域防災と復興」
パネリスト：西澤 雅道(福岡大学法学部 准教授)
梅木 久夫(北九州市消防局警防部警防課警防係長)
村江 史年(北九州市立大学地域共生教育センター特任教員)
濱田 英嗣(下関市立大学附属地域共創センター長)
森茂 梨萌(北九州市立大学法学部法律学科 3年)
コーディネーター：南 博(北九州市立大学地域戦略研究所 教授)

●第10回 鯨資料室シンポジウム

- 日 時：10月28日(土) 14:00~15:50
場 所：海峡メッセ下関10階 国際会議場
テーマ：下関市立大学鯨資料室開設10周年記念シンポジウム
~下関の鯨とふく、新たな挑戦~



- プログラム：
第1部「鯨油の利用と将来の可能性を探る」
・報告 岸本 充弘(下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)
・シンポジウム
コーディネーター：岸本 充弘
パネリスト：吉田 幸治(株式会社吉田総合テクノ企画管理課長)
岩田 在博(山口県産業技術センター専門研究員)
- 第2部「下関初のトラフグ陸上養殖の挑戦」
・報告 城下 隆(株式会社EECL 代表取締役)
・シンポジウム
コーディネーター：濱田 英嗣(下関市立大学附属地域共創センター長)
パネリスト：高橋 義文(九州大学大学院農学研究院 准教授)
佐々木 満(株式会社みなと山口合同新聞社 参与)



●鯨資料室聞き取り調査収録

- 日 時：平成30年1月16日(火) 14:00~16:00
場 所：株式会社東冷
対象者：石本 弘之(株式会社東冷 代表取締役会長)
聞き取り者：岸本 充弘(下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)



●鯨資料室寄贈および公開開始

- 下関市 寄贈
寄 贈 日：4月25日(火)
寄 贈 品：捕鯨船「第二十五利丸」操舵室部品(実物)
「羅針盤」「エンジンテレグラフ」
石野 久雄 寄贈
寄 贈 日：6月27日(火)
寄 贈 品：「中部幾次郎翁像」
書籍「中部幾次郎」「日本の水産業 大洋漁業」
「捕鯨 付録 日本の遠洋漁業」

